

## 第57回日豪経済合同委員会会議 概要報告

1. 期 間：2019年10月7日（月）～9日（水）

2. 場 所：ホテルニューオータニ大阪（大阪市）

3. 出席者：総勢368名

〔日本側〕三村 明夫 委員長（日本製鉄㈱名誉会長）、高橋 礼一郎 駐豪大使  
はじめ209名（代表、夫人、随員・オブザーバー他）

〔豪州側〕サーロッド・エディントン 委員長（JP Morgan, Asia Pacific Advisory, Chairman）、  
リチャード・コート駐日大使、州政府大臣はじめ159名

### 4. 総 括：

○今回の会議では、共通テーマ「New Partnership for the Future」（未来に向けた新たなパートナーシップ）のもと「資源・エネルギー、再生可能エネルギーと化石エネルギー、SDGs と 3E+S」、「インフラ投資・都市開発・都市集中化」、「イノベーション・スタートアップ」など5回の全体会議と基調講演で両国参加者による議論が繰り広げられた。

○各セッションでは、資源・エネルギー、インフラ投資・都市開発等における新たなビジネスチャンスの可能性について議論され、業種や地域、世代を超えた具体的な連携・パートナーシップが進んでいることが紹介された。また、最終全体会議では日豪の長年に亘る伝統的な関係に加え、将来に向けた新たな関係を模索し、構築することで、両国関係を更に強固にしていく必要があると総括された。



開会挨拶をする三村委員長

### 5. プログラム（全体会議・産業視察会・その他行事）：

#### ◆10月7日(月)

歓迎レセプション【太閤園「ガーデンホール」】

挨拶：尾崎 裕 大阪商工会議所 会頭  
柏木 陸照 大阪市 経済戦略局長

#### ◆10月8日(火)

開会式

開会挨拶：三村 明夫 日豪経済委員会委員長

サーロッド・エディントン 豪日経済委員会委員長

両国首相メッセージ代読：高橋 礼一郎 駐オーストラリア日本国特命全権大使

リチャード・コート 駐日オーストラリア特命全権大使

第1回全体会議 基調講演「未来に向けた新たなパートナーシップ」

金花 芳則 川崎重工業株式会社 代表取締役社長執行役員

第1回全体会議では、日豪の関係機関と共同開発を進められている水素エネルギーサプライチェーンプロジェクトが説明され、日豪の将来に向けた新たなパートナーシップが築かれることへの期待が示された。

## 第2回全体会議「資源・エネルギー、再生可能エネルギーと化石エネルギー、SDGs と 3E+S」

進行役：北村 雅良 電源開発株式会社 代表取締役会長

パネリスト：福泉 靖史 三菱重工業株式会社 上席シニアフェロー

宮地 正人 株式会社三菱UFJ銀行 取締役副頭取執行役員

Peter Coleman, CEO, Woodside

Paul Newman, Partner, Ashurst

第2回全体会議では、エネルギー消費に関し、経済性、安定性、環境インパクトの最少化を社会全体でバランス良く保つことが、持続可能な発展に向けて重要であると述べられた。また、水素エネルギー向けファイナンス実現の上で、完工・技術・販売の3つのリスクについても説明され、日本政府による一定の支援とコーポレートファイナンスでの資金調達の必要性が主張された。さらに、増大するエネルギー需要を満たしつつ、排出ガスを削減していくという世界が直面する二重の課題を克服していく上で、LNGが不可欠な役割を果たしていることが主張され、日本政府が推進する水素エネルギー利用による膨大な排出ガス削減への期待が述べられた。新たな水素サプライチェーンの構築に伴う様々な課題を克服するためには、世界的な協業と技術面でのパートナーシップが必要であると主張された。

## 第3回全体会議 事前講演「持続可能な都市開発ーよりよい都市環境を目指してー」

坂井 文 東京都市大学 都市生活学部 教授

将来に亘り世界的な都市人口の急速な増加が予想される中、官民連携で進める持続可能な都市開発の重要性について述べられた。その中で、ロンドンや日本で実際に行われている取り組み事例などを紹介され、人種・年齢・ライフスタイルなどの多様性を包含する都市づくりや、エリアごとの特徴を活かした当該地域の価値向上に取り組むことが重要とされた。



第3回全体会議 坂井 文 教授

## 第3回全体会議 パネルディスカッション「インフラ投資・都市開発・都市集約化」

進行役：Bob Seidler AM, Principal, Kokusai Business Advisory

パネリスト：Jason de Sousa, Group Executive, Lendlease

Kim Curtin, Interim Deputy Secretary Trade, Tourism, Investment and Precincts, NSW Treasury

大島 眞彦 株式会社三井住友フィナンシャルグループ 代表執行役副社長

矢島 浩一 丸紅株式会社 顧問

第3回全体会議では、世界における大都市数及び都市人口の増加について説明された上で、豪州最大の経済圏であるニューサウスウェールズ州の西シドニー開発プロジェクトについて紹介された。日本には高度な技術や独自のノウハウを有する企業が多く存在することから、日本企業が豪州企業と計画の初期段階から協働して取り組むことの重要性を主張されるとともに、今後多くの日豪連携が行われることへの期待を示された。また、日米豪のインフラ協力で期待することとして、日米豪政府トップによる投資先の政府トップへの PPP 事業の売り込み、投資先のインフラ関連の制度整備強化に対する協力、国際連携の促進の3つが提唱された。

## 晩餐会

## ◆10月9日(水)

### 第4回全体会議 次世代リーダーズセッション「New Partnership Showcase」

進行役：三原 寛奈 マッコーリー証券株式会社 シニアヴァイスプレジデント  
モデレーター：Natalie McDowell, Senior Associate, Australia Japan Practice, Herbert Smith Freehills  
パネリスト：Ronald Tucker, Australian Digital Commerce Association (ADCA), Founder & President  
福井 崇人 日本仮想通貨交換業協会 事務局長  
Geoff Ward, CEO & Managing Director, Hazer Group Limited  
Stuart Harrington アトラシアン株式会社 代表取締役社長  
Christopher Brennan MCIB パートナーズ株式会社 エグゼクティブディレクター  
池田 修 千代田化工建設株式会社 水素チェーン事業推進部 水素事業企画・開発セクション セクションリーダー

第4回全体会議では、ブロックチェーンと仮想通貨、水素供給事業などをテーマに、豪州企業と日系企業の連携事例が紹介され、日豪間の透明性の高い情報共有のもとに成り立つ産官学民のパートナーシップやコミュニケーションと相互理解の重要性が主張された。

### 第5回全体会議 「イノベーション・スタートアップ」

議長：Professor Veronica Taylor, Australian National University  
スピーカー：Michael Kavanagh, Chief Executive Officer / President, Nanosonics Limited  
柿原 安博 豊田通商株式会社 化学品・エレクトロニクス本部 エレクトロニクス SBU 本部 C00  
信谷 和重 日本貿易振興機構 副理事長

第5回全体会議では、医療分野で世界2番目の市場である感染症予防機器の日本へ進出の取り組みと重要性が紹介され、日本の医療関係機関、民間企業、行政機関とのパートナーシップが不可欠であると説明された。また、準天頂衛星システムを活用した豪州での自動運転システムの事例が紹介され、短期的・長期的の今後の可能性にも触れられた。最後に、日本が目指している未来社会の姿である Society 5.0 について紹介された上で、持続可能なより良い暮らしを実現する為には、基本的な価値観を共有する日豪両国の協力が重要であると主張された。

### 最終全体会議

両委員長の総括として、日豪の長年に亘る伝統的な関係に加え、将来に向けた新たな関係を模索し、構築することで、両国関係を更に強固にしていく必要があると述べられた。また、ディビット・リッジウェイ南オーストラリア州 貿易・投資・観光大臣より、次回の会議について、2020年10月18日(日)から20日(火)にオーストラリアのアデレードで開催することが発表された。

### 産業視察会「けいはんな学研都市」

「岩谷産業中央研究所&ダイキン・テクノロジーイノベーションセンター」

以上